

熊本地震による九州観光への影響

調査研究部 動向班

はじめに

前号に引き続き、熊本地震による九州経済への影響について報告する。本レポートでは、主に、当会実施の「九州の観光・レジャーに関する緊急アンケート」（2016年6月3日確報・69施設回答）に基づく九州観光DIの推移や寄せられたコメントについてまとめた。

GW時点の九州観光DI、低下

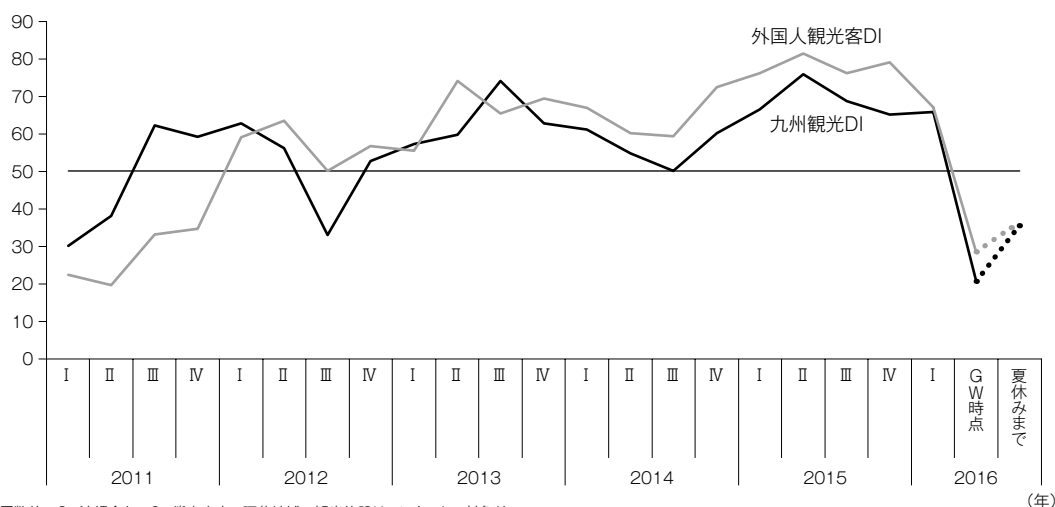
当会実施の「九州の観光・レジャーに関する緊急アンケート」（2016年6月3日確報・69施設回答）に基づくGW時点の九州観光DIは20.7と、前期（2016年1～3月期）の65.8から大幅に低下した。外国人観光客DIについても、前期の67.1から低下し、28.4となった。

夏休みまでの見通しDIは、GW時点よりも14.8ポイント持ち直し、35.5となった。外国人観光客の見通しDIは36.4となり、GW時点より8.0ポイントプラスとなる見込みだが、外国人観光客の回復が鈍い結果となった。

施設の関心はキャンセルから新規の伸び悩みへ

アンケートに寄せられたコメントによると、個人客については、長引く余震や自粛ムードの影響で地震の直接的な被害の有無に関わらず、キャンセルが発生していることがうかがえる。また、修学旅行については、通常4月から6月がハイシーズンとなっているが、その期間中に地震が発生したことが多数のキャンセルにつながったとみられる。これまで九州では平和学習や、農業・漁業の体験、民泊を売りにして積極的に修学旅行客を受け入れていた。来年以降の修学旅行についてもキャンセルが発生している施設もあり、今後は修学旅行客の呼び戻しが九州観光復興の焦点の1つと

図1 九州観光DI、外国人観光客DIの推移



注) 1. DIは原数値 2. 沖縄含む 3. 熊本市内・阿蘇地域の観光施設はアンケートの対象外
資料) 九経調「九州の観光・レジャーに関する緊急アンケート」（2016年6月3日確報）

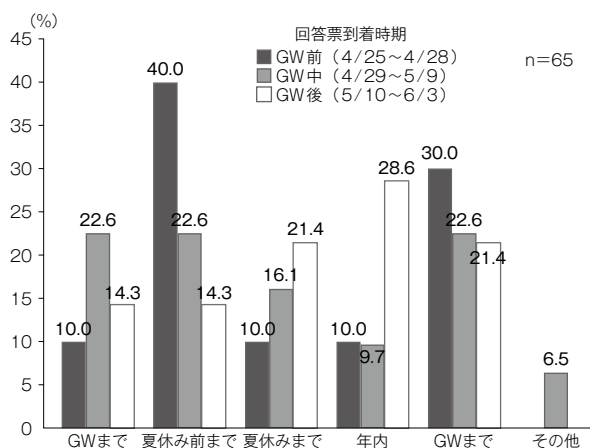
なろう。

また、熊本地震による観光への影響を検討する上で、もうひとつ注目すべきは、キャンセルもさることながら、新規の予約数の減少に関するコメントが複数寄せられている点にある。つまり、現段階において、各宿泊施設の関心事は、すでに生じてしまったキャンセルより、新規予約が増えない点にあるといえ、延べ宿泊者数や観光消費額の算定上、看過できない現象として捉えなければならなくなっている。

地震の影響が長期化する恐れも

以上のように、時間の経過とともに熊本地震による九州観光への影響の一端が、各施設のコメントなどからうかがい知れるようになり、当初の想定より地震の影響が長期化する恐れも出てきたと言わざるを得ない

図2 回答票到着時期別・地震の影響が続く時期



資料) 九経調「九州の観光・レジャーに関する緊急アンケート」(2016年6月3日確報)

状況となっている。

そこで、地震の影響が続く時期について尋ねた当会実施のアンケート結果の詳細を紹介する(図2)。地震の影響が続く時期について回答票到着時期別に集計すると、時間の経過とともに地震の影響が「夏休み前まで続く」とする回答が減少する傾向を確認できる。また、GW後に回答票が到着した施設の回答に限定して集計した場合、地震の影響が「年内まで続く」とする回答が最も多くなっている。

前年同月水準への回復は8月以降に

全国約6,575万泊以上の宿泊予約・実績データや過去の実績と予約状況をもとに各地の宿泊者数の予測結果を提供している経済産業省「観光予報プラットフォーム」から、九州・沖縄における2016年4月～8月の宿泊者数の推移予測を集計した(図3)。直近の予測(2016年6月7日更新)を2015年延べ宿泊者数実績対比で見ると、7月までは前年を大きく下回る水準で推移するが、8月にはほぼ前年並みの水準まで持ち直す結果となっている。

なお、本予測は地震発生後4回更新されているが、地震直後(2016年4月27日更新)の予測と直近の予測の対前年実績対比を見ると、当初は7月に前年並みまで戻り、8月は前年を大きく上回る予測となっていた。しかし、直近の予測では、7月までは前年を大きく下回り、8月に前年並みへ回復するとの結果に修正されている。

限定的だったクルーズ船への影響

九州内でクルーズ船の受け入れを行っている主要港では、八代港においてのみキャンセルが発生している。それ以外の地域ではキャンセルはほとんど出しておらず、乗船人数の減少などの影響も現時点では確認されていない。

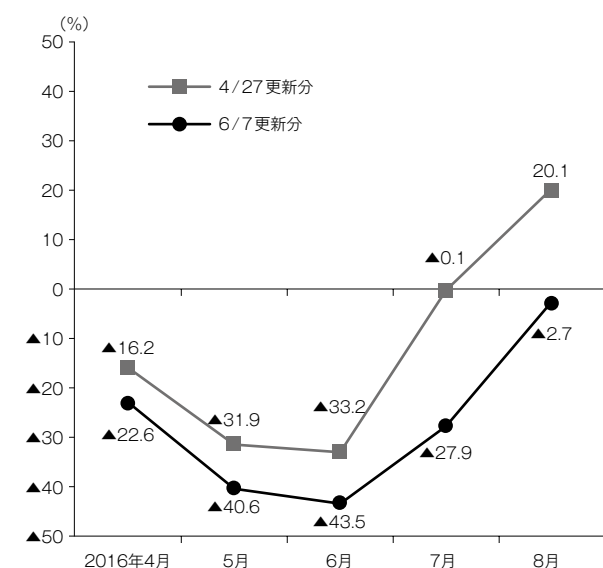
クルーズ船は、多くの場合、朝入港して夜出港するスケジュールで運航されており、日帰り可能な範囲での観光が主となる。そのため、被災地に近い八代港のみキャンセルが発生し、それ以外の港では予定通り運航されたものと考えられる。

表1 九州内主要港におけるクルーズ船のキャンセル状況

港湾	キャンセル状況
博多港	キャンセルなし
佐世保港	キャンセルなし
長崎港	キャンセルなし
八代港	5月と6月に入港予定だった2隻中2隻がキャンセル。7月以降はキャンセルなし
鹿児島港	キャンセルなし

資料) 九経調べ

図3 九州・沖縄における2016年4月～8月宿泊者数推移予測の前年実績対比



注) 2016年6月7日更新の推移予測における4月・5月分は、観光予報プラットフォームにおける宿泊者数の単純集計結果(6/7更新)から集計
資料) 観光庁「宿泊旅行統計調査」、経済産業省「観光予報プラットフォーム」より九経調作成

延べ宿泊者数は360万人減、 観光消費額は600億円減

以上のような最新データやアンケート結果などにより、当会が2016年5月19日に発表した九州観光への影響を更新することとした。

まず、熊本地震による観光への影響が7月まで続くとして、九州・沖縄における2016年4月～7月までの延べ宿泊者数が約2,080万人となり、前年同期の実績値から約360万人(14.8%)減少すると見込んだ。この360万人分の観光消費額は九州域外(インバウンド含む)、域内合計で約600億円となる。

360万人の減少分の内訳は、九州域外(同)からの延べ宿泊者数の減少分が約78%、域内居住者の延べ宿泊者数の減少分は22%となり、観光消費額の減少分はそれぞれ、九州域外(同)81%、域内19%と見込む。

なお、ここで用いた観光消費単価は九州域内、国内域外、海外居住者別に想定している。九州域内と国内域外の観光消費単価は、観光庁「旅行・観光消費動向調査」による九州を主目的地とする宿泊旅行者の1泊当り観光消費支出額をベースにした。そし

て、観光庁「旅行・観光消費動向調査」、国土交通省「全国幹線旅客純流動調査」のデータによる居住地から九州までの距離及び所要時間を説明変数とする推計式から算定した域内/域外居住者の観光消費額の比で、宿泊旅行者の1泊当り観光消費支出額で分割するなどして、九州域内、国内域外それぞれの観光消費単価を設定した。

海外居住者の観光消費単価は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の主な宿泊地別1人1泊当り旅行消費単価から、観光消費単価を設定した。

おわりに

九州観光の促進策として、九州観光復興ポータルサイト(九州観光推進機構)の開設や、九州内の自治体による観光プロモーション「WITH THE KYUSHU プロジェクトー今こそ九州観光!ー」の実施など、九州観光に関する情報発信が活発に行われている。また、九州内の空港発着便を割引にするキャンペーンなど、民間企業でもさまざまな復興支援策が行われている。そして、5月31日、政府が「九州の観光復興に向けての総合支援プログラム」を策定し、「九州観光支援のための割引付旅行プラン助成制度」の創設や、国内外に向けたプロモーションなどを実施することを公表した。報道によると、熊本県・大分県では同助成制度によって宿泊費が最大で7割引となる見通しとなっている。

現時点では夏休み期間中の観光客の取り込みは苦戦が予想されているが、各所で実施されているプロモーションなどの効果や、助成制度の利用が始まり九州観光に「割安感」が出れば、潮目が変わる可能性がある。夏休みに向けた観光客の取り込みに期待したい。

(八木 杏奈)

GW時点の景況感に関する主なコメント

地域	景況感	コメント
九州北部	やや良くなる	地震発生までは個人・団体共に好調だった 今年の4月29日から5月7日までの入館者数は、昨年の同日と比較した結果、若干数ではあるが270名ほどの増となっている
	不変	地震の影響が多少出ると思われるが、曜日並びも良く変動することはなさそうである
	やや悪くなる	一般宴会（パーティー）の自粛により、それに付随する宿泊減。九州への外国人観光客の大幅減等 震災前までは前年を上回る予想であったが、震災の影響によるキャンセルが相次いだため悪くなる見通し 訪日客を中心にキャンセルが発生 新規予約が減少のため
	悪くなる	インバウンド団体のキャンセル、レジャーの伸び悩み 修学旅行等の教育旅行が地震の影響によりキャンセル、個人客も減少 修学旅行の団体が4月に3件入っていたがキャンセルになり、その後もあまり良くない キャンセルが多く、例年の1/2以下の客数であるため 熊本地震に伴う風評被害のため、宿泊キャンセルが相次いだため。また入場者数は昨年の4割の落ち込みがあった
	良くなる	地震に伴う被害で調査会社や復旧工事の問い合わせが増えたため 観光客は若干減っても地震復旧関係者が増えた
	不変	特に影響なし
	やや悪くなる	地震の影響のため
	悪くなる	宴会の自粛によるキャンセルや宿泊のキャンセルが発生 熊本地震以降、九州以外の方からは「九州はひとつ」の見方が強く、爆発的にキャンセルが相次いだ 海外団体の落ち込みのため 地震および風評で入館者は大幅に減少
九州南部	やや悪くなる	昨年に比べると団体客が少ない 地震の影響のため
	悪くなる	GW5/3、4の客数は変わらないが、単価が下がったので売上は激減 個人、団体共に好調に受注していたが、地震で大量にキャンセルが出た 予約数が伸びない。空室が目立つ キャンセルもさることながら、新規の予約数が減少している キャンセルの増加、新規が見込めない
	やや良くなる	ANA・東京（羽田）大阪（関空）の直行便就航 インバウンド需要増
	悪くなる	日並びが悪い。沖縄全体の価格上昇のイメージが定着

資料）九経調「九州の観光・レジャーに関する緊急アンケート」（2016年6月3日確報）

夏休みまでの見通しに関する主なコメント

地域	景況感	コメント
九州北部	不変	現時点での影響が6月にとどまっていることから、夏までには回復する見込み キャンセルがあまりないため
	やや悪くなる	団体バスツアー中止の影響が大きく響きそうである 比較的地震の頻度は少ないが、「九州は危ない」という風評はなかなか払拭できないと思われるため 地震の影響は今のところ5月いっぱいとは考えているものの、その後の観光客の動きが見えない 仕事等で宿泊している人が減る
	悪くなる	修学旅行などの教育旅行が地震の影響によりキャンセル 九州は周遊型観光地のため、九州観光の「へそ」的立地の熊本の復興なくしては厳しい状況が続くと思われる
	良くなる	復旧工事関係の工事のための宿泊客が増える
九州中部	やや良くなる	後がないため頑張るのみ キャンセルはほとんど発生していないため このまま余震が少なくなれば、安全と認識するようになり、予定が延期になっている案件の反動が見込める 余震も収まり始め観光のお客様が増加するとみられる
	不変	地震が収まり、現状と変わらず予約が入りそう
	やや悪くなる	キャンセルが発生、予約も出足が遅い 海外団体の落ち込みのため
	悪くなる	施設自体に地震被害はなかったが、甚大な被害が出た地震であり、当面動員への間接的影響が出ると思われる 余震が収まり、高速道路や公共交通機関が使用でき、安全宣言が出されない限り予約増加は見込めそうにない
九州南部	やや良くなる	国・自治体の施策（補助金事業）による宿泊客増 ビジネスホテルなので直前の予約が大半を占めている
	不変	GW以降、修学旅行のキャンセルも相次ぎ回復は不可能。個人はそこまで大きなキャンセルには至っていないがインフラの回復により左右される
	やや悪くなる	徐々に問い合わせ電話数が増えて（戻って）きている 国内の個人客新規受注状況が悪い
	悪くなる	熊本の余震が収まらなると良くなることはないと考え 地震の影響を受け団体が動かない 予約数が伸びない。空室が目立つ
沖縄	やや良くなる	インバウンド需要が増加
	やや悪くなる	シルバーウィークもあったため昨年との比較が難しいが夏商品は弱いイメージ

資料）九経調「九州の観光・レジャーに関する緊急アンケート」（2016年6月3日確報）

外国人観光客の夏休みまでの見通しに関する主なコメント

地域	景況感	コメント
九州北部	不変	クルーズ船ゲスト増に期待
	やや悪くなる	地震の影響によって九州方面の旅行者の減少はしばらく続くと思われ、夏頃までの回復は難しいと思われる
		夏までにアジアインバウンドの回復が完全にもとらない可能性があるため
	悪くなる	今回の地震により、九州全体でのインバウンドの入込みが少なくなると予想している
		地震の影響で悪い。特に台湾では地震速報が流れる状況。継続的に悪い
		地震の風評被害で、インバウンドは周遊型の阿蘇、黒川、湯布院が悪い。円高傾向も影響
九州中部	不変	九州だけでなく、狭い日本なので訪日旅行に行かないという情報がよくある
		九州ひとくくりで見られているため、団体ツアーの催行が軒並み減少する
	やや悪くなる	余震も収まり始めているため、外国人のお客様も以前の状況に戻ると思われる
	悪くなる	4月下旬頃から当日来場が散見されるようになり、少しずつ予約も入り始めている
九州南部	やや良くなる	夏のツアー設定時期に地震が発生したため、コースから外される。もしくは九州外へのコースに変更されることで、夏休み団体の大幅減が考えられる
		地震の影響で、別府・湯布院エリアへの入込みが減少
	不変	地震のため大量にキャンセルは出たものの、香港のゴルフツアーが好調。現時点では、昨年より上回る見込みとなっている
		観光地ではないためほとんどのお客様がビジネスで宿泊
	やや悪くなる	5/5現在減っていない
沖縄	やや良くなる	若干の落ち込み程度と見越すが、インフラにより大きく変動する
		余震が長引き、九州内への海外客の入込みが減少している
	やや悪くなる	ツアー客が減少傾向のため
		例年より増加すると考えられる
沖縄	やや良くなる	海外OTA（オンライン・トラベル・エージェンツ）予約が好調に推移
	やや悪くなる	円高の影響や震災の影響での日本への旅行離れ

資料）九経調「九州の観光・レジャーに関する緊急アンケート」（2016年6月3日確報）